

表 5 禁煙治療 1 年後の禁煙群と喫煙群における KTSND 項目別推移

質問	禁煙(n=20)		喫煙(n=9)	
	初診時	1年後	初診時	1年後
1 タバコを吸うこと自体が病気である	1.0±1.0	1.2±1.1	0.9±1.1	0.6±1.0
2 喫煙には文化がある	1.4±1.2	1.3±1.0	1.2±1.3	1.2±1.1
3 タバコは嗜好品である	2.2±1.0	1.8±1.3	1.9±1.2	2.1±0.9
4 喫煙する生活様式も尊重されてよい	1.6±0.9 ^a	1.6±0.9	0.6±0.9 ^a	1.1±1.2
5 喫煙によって人生が豊かになる人もいる	1.1±0.9	1.2±1.0	1.0±1.0	1.0±1.1
6 タバコには効用がある	2.5±1.1 ^c	0.8±0.8 ^{b,c}	2.6±1.0	1.9±0.8 ^b
7 タバコにはストレスを解消する作用がある	2.0±0.9 ^c	0.9±0.8 ^{b,c}	2.2±0.7	2.4±0.5 ^b
8 タバコは喫煙者の頭の働きを高める	1.1±0.8	0.7±0.7	0.9±0.9	1.3±1.3
9 医者はタバコの害を騒ぎすぎる	0.7±0.8	0.6±0.7	0.9±1.2	0.9±1.3
10 灰皿が置かれている場所は、喫煙できる場所である	2.7±0.7 ^c	2.2±0.8 ^c	2.9±0.3	2.3±1.1

mean±SD

^a 初診時の喫煙群の問 4 の得点は禁煙群の得点に比べ低かった (p<0.05)。

^b 1 年後の禁煙群の問 6、7 の得点は喫煙群に比べ低かった (p<0.01)。

^c 禁煙群において 1 年後の問 6、7、10 の得点は初診時の得点に比べ低下した (問 7 : p<0.01、問 10 : p<0.05)。